

お知らせ

2021年9月29日(水)

北海道エアポート株式会社

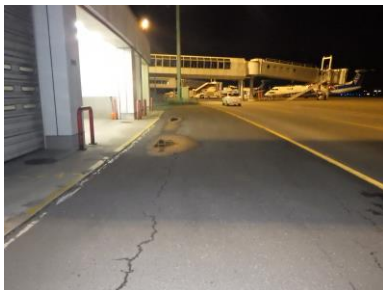
環境への配慮を考え、薄層アスファルト舗装材を使用した維持修繕工事を実施しました

北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛）は、日本道路株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：久松博三）と協力し、路面が老朽化していた新千歳空港国内線2番スポットのバス乗降口付近にて、同社の薄層アスファルト舗装材「リフレッシュシール Mix-H」を使用した維持修繕工事を実施しました。

この舗装材は、老朽化した路面の切削が不要であり、通常よりも薄層でのアスファルト表面処理が可能であることから、工事時間の短縮が可能となり、廃材の抑制と使用材の軽減によるCO₂削減（100㎡の施工あたり1.4tの削減効果あり※）といった環境への効果も期待されます。

当社は、環境に優しく安全・安心な空港運用を目指し、今後も新素材を活用した維持修繕工事の実施を検討してまいります。

※日本道路株式会社による試験値



工事前

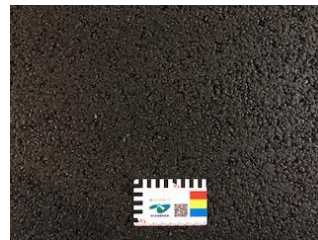


施工中



工事完了時

- 最大粒径5mmの特殊配合混合物が、既設路面上での薄層アスファルト舗装による表面処理を可能にします。



※商品に関する説明は以下のURLよりご参照ください。

<https://www.nipponroad.co.jp/technique/list/maintenance/product01/>

<本件に関するお問い合わせ>

空港計画部 技術課 0123-46-2990 (代表)